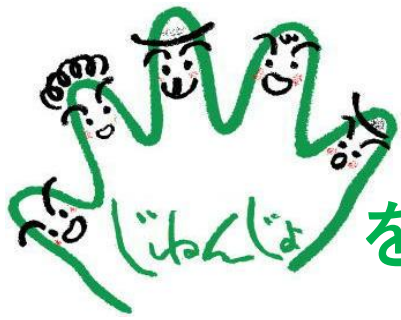




を 育 む 会

第24回

発行日：令和8年8月1日

発行者：「じねんじょ」を育む会

会長 池内 京子

下関市生野町2丁目28-20
社会福祉法人じねんじょ内

「何もできなくても、ただ傍にいただけで」

じねんじょを育む会 会長 池内 京子

「じねんじょ」の充実・発展を見続けてきた私は、「あ〜、こんなこともあんなことも、あの子たちにさせたかったなあ」としみじみ思うことが多々あります。早世したあの子・この子の顔と同時にお母さんたちの顔も浮かび、30数年前に心が戻ります。あの子を失っても大切に紡ぎ続けた絆がたくさんありました。



一方、親亡き後の子の処遇に心を碎き、自身の老いと向き合いながら苦しんで、自宅でない他所に委ねることを決断されたお母さん達がおられます。「これでよかったのか？」と子どもに詫びながらも老齢に勝てず判断の是非に苦しんでおられます。子どもは子どもで、親の迷いを知っているかのように、これまでは平気で言えたワガママを飲み込み、現況に甘んじようと切ない努力をしています。



私はいつも「この子は私が育てましたと、胸を張って下さい」「ご自分の人生に誇りを持って下さい」と話してきました。おそらく、子どもたちはお母さんの姿勢を察していたのでしょう。成長したのだと思います。

もう親が何もできなくても、この子の母として毅然としていて欲しいと思います。私も隣に佇むだけしかできなくなりました。でも、いつまでも我が子を見つめるお母さんたちの傍にいたい、心からそう思っています。

活動報告

◎「じねんじょを育む会」から以下の行事に助成しました。

第48回馬関まつり「愛のひろば」

開催：令和7年8月23日(土)

じねんじょの利用者さんの作品の展示・販売やお菓子釣りなどゲームを開催しました。保護者会から贈呈された発電機を活用し、夜間照明での販売もスムーズに出来ました。来場のお客様とも、「久しぶり(^_^)」で会話も盛り上がりました。



成人を祝う会 開催：令和8年3月5日(木)

令和7年度の成人(二十歳)を迎えられたメンバーさんは1名でした。

「成人 おめでとう
ございます。」



「じねんじょを育む会」からは、印鑑を贈りました。実印や銀行印などにご活用していただければ幸いです。

下関グランドホテルにて、合同の「ダブル成人」(20歳+20歳)として、40歳のメンバーさんのお祝いもしました。「これからも、ご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。」

じねんじょフェスティバル

開催：令和7年10月12日(日)

じねんじょ恒例の行事です。「じねんじょ本館」「だいち」との2か所での開催でした。

イベントでは、幕開けに「Jクラブ」の演奏から始まり、「えむぜっと♪and フレンズ」や、「下関少年少女合唱隊」など素敵な演奏で会場が盛り上がりました。バザーでは、花笑みの会などの親の会や福祉作業所からパンや弁当などの販売出店がありました。

じねんじょからは、手作り雑貨などの販売がされました。



「じねんじょを育む会」からは、フェスティバルの運営助成をしました。

じねんじょフォーラム

開催：令和7年9月21日(日)

「NPO 法人 自立支援センターおおいた」からお越しいただいた神田憲治さんが、下記のテーマでご講演されました。

『別府市の地域における障害者の受け入れ、
支援の状況について』

～下関市でのヒントになれば～

障がいのある人も一市民として地域と積極的に関わっていくことを目指して、大分県の「福祉の街づくり計画」などのお話がありました。

このフォーラムの運営助成をしました。

「むくっこ」(児童発達支援事業)の未就学児童の子どもへ、絵本や教育教材(おもちゃ)を贈りました。大きな絵本に少しびっくり!! 目の前におもちゃがイッパイ、笑顔一杯であそびました。

くはらべこあおむし(ビックブック)>



<ままごとセット>
48点のキッチンセット

おもちゃのお医者さんセット>

診察道具 聴診器 収納ケース付き



「じねんじょを育む会」会員のみなさまへ

平素より、本会の活動にご協力いただき誠にありがとうございます。さて、当会は社会福祉法人じねんじょが行う各種の事業が円滑に運営され、(社福)じねんじょを利用される皆さんが安心して利用ができ、より豊かな活動ができますように支援をさせていただいています。これからも、会員の皆様には、引き続き会員継続とご入会のご紹介をいただき、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

☆「じねんじょ」ホームページに「育む会」掲載していますので閲覧下さい。

(<http://www.jinenjo.or.jp/hagukumu.html>)

